



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 シキボウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3109 URL <https://www.shikibo.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 尻家 正博
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレート部門長(氏名) 伊丹 秀典 (TEL) 06-6268-5421
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,429	9.6	213	5.0	207	1.4	144	△73.2
2023年3月期第1四半期	8,604	△0.3	203	△33.5	204	△0.7	540	362.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 352百万円(△49.8%) 2023年3月期第1四半期 702百万円(186.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	12.49	—
2023年3月期第1四半期	46.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	82,447	33,124	40.1
2023年3月期	82,043	33,357	40.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 33,102百万円 2023年3月期 33,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,000	2.7	700	20.7	550	△6.3	300	△60.9	25.88
通期	39,000	2.9	1,600	31.4	1,300	15.5	700	△55.4	60.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	11,810,829株	2023年3月期	11,810,829株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	219,094株	2023年3月期	218,908株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	11,591,852株	2023年3月期1Q	11,584,094株

(注) 当社は、株式報酬制度 (役員向け株式給付信託) を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている役員向け株式給付信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進む中、インバウンド需要の回復もあり、経済活動は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な金融引き締め等が継続する中、物価上昇等による景気の下振れリスクは依然として高く、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、当社創立150年にあたる2042年に向けた長期ビジョン「Mermaid 2042」を策定し、その実現に向けた第一ステップとして中期経営計画「ACTION 22-24」を昨年4月1日からスタートいたしました。2年目を迎えた本年度においても、コロナ禍からの復活を目指すこと、長期ビジョンの実現に向けた成長のレベルをさらに加速させることとし、新たに創ること、新たに取り組むことに挑戦しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は94億29百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は2億13百万円（同5.0%増）、経常利益は2億7百万円（同1.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に当社の海外連結子会社において発生した火災による損害に対する保険金を特別利益として計上していたため大幅減益となり、1億44百万円（同73.2%減）となりました。

(繊維セグメント)

繊維セグメントにおいては、市況は回復しつつあるものの、製造コスト上昇の継続に加え、価格転嫁の遅れが利益を圧迫いたしました。

原糸販売事業は、ベトナム等アセアン地域における綿糸の市況低調が継続し、市場価格も下落傾向が継続したため、非常に苦戦いたしました。

輸出衣料事業は、円安を背景に、中東民族衣装用生地販売は好調に推移いたしました。

ユニフォーム事業は、ユニフォーム生地販売において増収となりましたが、製造コスト上昇分の価格転嫁が進まず、利益を押し下げました。

ニット製品事業は、価格転嫁も進み、好調に推移いたしました。

生活資材事業は、リビング分野においては店頭在庫の余剰により市況が振るわず、低調に推移いたしました。リネン資材分野は、価格転嫁により、堅調に推移いたしました。また、メディカル分野では、悪臭を良い香りに変える臭気対策剤「デオマジック®」については、産業用途向けを中心に営業活動しておりますが、苦戦いたしました。

以上の結果、繊維セグメント全体としての売上高は47億48百万円（前年同期比12.2%増）となり、営業損失は2億9百万円（前年同期は2億25百万円の営業損失）となりました。

(産業材セグメント)

産業資材部門では、ドライヤーカンバス事業は、顧客の設備改造に伴うカンバス需要取り込みに加え、堅調なコルゲーターベルト販売により、増収となりましたが、原材料価格の高騰等が利益を圧迫いたしました。フィルタークロス事業は、海外向けスポット販売により増収となり、空気清浄機分野においては、主力機器の販売が順調に推移したほか、大型物件の販売により、増収となりました。

機能材料部門では、化成品事業は中国向けの化学品需要が顧客の在庫調整の影響により、受注減となりましたが、食品用途の増粘多糖類等が好調に推移した結果、全体では増収となったものの、原材料価格の高騰等が利益を圧迫いたしました。複合材料事業は、電力分野等の複合材料部材は、受注増により好調に推移し、加えて航空機用途向け部品の需要は、昨年度から回復基調が続いており、増収となりました。

以上の結果、産業材セグメント全体としての売上高は33億45百万円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益は1億18百万円（同19.0%増）となりました。

(不動産・サービスセグメント)

不動産賃貸事業は堅調に推移いたしました。物流事業は市況の回復を受けて、堅調に推移いたしました。リネンサプライ事業はインバウンド需要の回復が進み、取引先のホテルが高稼働したことを受け、大幅な増収となり、利益に大きく貢献いたしました。

以上の結果、不動産・サービスセグメント全体としての売上高は14億84百万円（前年同期比0.5%増）となり、営業利益は5億12百万円（同3.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は824億47百万円となり、前年度末に比べ4億4百万円の増加となりました。これは主に、売上債権が減少したものの、有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、493億22百万円となり、前年度末に比べ6億36百万円の増加となりました。これは主に、有利子負債の増加によるものであります。

純資産は、331億24百万円となり、前年度末に比べ2億32百万円の減少となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前年度末に比べ0.5ポイント減少し、40.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想については変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,996	5,317
受取手形及び売掛金	7,101	6,822
電子記録債権	1,938	1,775
商品及び製品	5,911	5,950
仕掛品	1,926	1,941
原材料及び貯蔵品	1,843	1,757
未収還付法人税等	177	191
その他	861	1,135
貸倒引当金	△21	△9
流動資産合計	24,738	24,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,179	45,250
減価償却累計額及び減損損失累計額	△33,666	△33,911
建物及び構築物（純額）	11,512	11,339
機械装置及び運搬具	27,420	27,606
減価償却累計額及び減損損失累計額	△25,369	△25,554
機械装置及び運搬具（純額）	2,050	2,052
工具、器具及び備品	1,647	1,664
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,513	△1,527
工具、器具及び備品（純額）	133	136
土地	38,270	38,282
リース資産	1,886	1,876
減価償却累計額	△1,089	△1,109
リース資産（純額）	797	767
建設仮勘定	492	1,141
有形固定資産合計	53,256	53,718
無形固定資産	509	504
投資その他の資産		
投資有価証券	889	912
繰延税金資産	2,195	2,014
その他	505	465
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	3,539	3,340
固定資産合計	57,305	57,564
資産合計	82,043	82,447

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,222	3,121
電子記録債務	974	999
短期借入金	9,257	9,404
1年内償還予定の社債	1,110	1,080
未払費用	553	547
未払法人税等	73	54
未払消費税等	-	214
賞与引当金	584	344
火災損失引当金	36	8
その他	1,296	1,356
流動負債合計	17,109	17,130
固定負債		
社債	2,690	2,930
長期借入金	11,021	11,504
リース債務	688	671
繰延税金負債	179	180
再評価に係る繰延税金負債	6,216	6,216
退職給付に係る負債	6,266	6,148
役員退職慰労引当金	54	54
修繕引当金	81	87
長期預り敷金保証金	4,145	4,143
その他	233	256
固定負債合計	31,576	32,192
負債合計	48,686	49,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,336	11,336
資本剰余金	896	896
利益剰余金	9,155	8,714
自己株式	△241	△241
株主資本合計	21,146	20,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	218
繰延ヘッジ損益	△15	74
土地再評価差額金	13,238	13,238
為替換算調整勘定	△1,040	△1,033
退職給付に係る調整累計額	△171	△103
その他の包括利益累計額合計	12,191	12,395
非支配株主持分	19	22
純資産合計	33,357	33,124
負債純資産合計	82,043	82,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	8,604	9,429
売上原価	7,048	7,818
売上総利益	1,555	1,610
販売費及び一般管理費	1,352	1,397
営業利益	203	213
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	14	11
受取保険金	-	18
為替差益	48	38
補助金収入	16	-
雑収入	19	20
営業外収益合計	100	92
営業外費用		
支払利息	53	54
雑支出	45	43
営業外費用合計	99	97
経常利益	204	207
特別利益		
受取保険金	474	113
その他	0	0
特別利益合計	474	113
特別損失		
投資有価証券評価損	-	29
固定資産除却損	-	8
その他	-	1
特別損失合計	-	40
税金等調整前四半期純利益	679	281
法人税、住民税及び事業税	44	29
法人税等調整額	85	105
法人税等合計	130	134
四半期純利益	549	146
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	540	144

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	549	146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	38
繰延ヘッジ損益	44	90
為替換算調整勘定	127	7
退職給付に係る調整額	△8	69
その他の包括利益合計	153	205
四半期包括利益	702	352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	693	349
非支配株主に係る四半期包括利益	9	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,229	3,038	1,336	8,604	—	8,604
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	140	143	△143	—
計	4,232	3,038	1,477	8,747	△143	8,604
セグメント利益又は損失(△)	△225	99	497	371	△168	203

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△168百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	繊維	産業材	不動産・ サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,747	3,345	1,336	9,429	—	9,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	148	149	△149	—
計	4,748	3,345	1,484	9,578	△149	9,429
セグメント利益又は損失(△)	△209	118	512	421	△208	213

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△208百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であり
ます。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。